

# 平成27年度 第2回 東播臨海広域ごみ処理連絡会議

## 会 議 録

## 1 開会及び閉会の年月日時並びに場所

開会：平成 28 年 2 月 5 日（金）14 時 00 分

閉会：平成 28 年 2 月 5 日（金）15 時 10 分

場所：高砂市美化センター 4 階研修室

## 2 会議に出席した者の職及び氏名

会長（議長）	高砂市長	登 幸 人
委員	加古川市長	岡 田 康 裕
委員	稲美町長	古 谷 博
委員	播磨町長	清 水 ひろ子

（傍聴者 11 名）

## 3 議事

（1）平成 27 年度 広域ごみ処理事業について

（2）平成 28 年度 広域ごみ処理事業について

（3）その他

## 4 議事の経過及び確認事項

平成 27 年度 第 1 回東播臨海広域ごみ処理連絡会議（平成 27 年 7 月 7 日開催）  
会議録を確定。

議事（1）平成 27 年度 広域ごみ処理事業について

○事務局から議事（1）について説明。

・平成27年度の広域ごみ処理事業に係る事業スケジュールについて説明。

・東播臨海広域市町村圏における広域ごみ処理施設整備・運営事業 実施方針について、事業概要、民間事業者の募集及び選定に関する事項、並びに民間事業者の責任の明確化等についてまとめたものであり、1月8日（金）に高砂市のホームページ上に公開したことを説明。

・平成27年度広域ごみ処理事業特別会計予算について、執行額の確定等に伴う補正予算を3月議会に上程すること、その他不用額は決算対応することを説明。

○議事（1）について了承した。

議事（2）平成 28 年度 広域ごみ処理事業について

○事務局から議事（2）について説明。

- ・平成28年度の広域ごみ処理事業に係る事業スケジュールについて説明。
- ・広域ごみ処理施設の建設に伴う2市2町のごみ搬入予定ルート路線及び中筋交差点の改良・改修を、本事業に係る周辺環境整備事業として進めていきたい旨を説明。

そのうえで、平成28年度にはごみ搬入予定ルートのうち、市道部分及び中筋交差点の改良・改修に向けた取り組みを進めていく旨を説明。

- ・平成28年度広域ごみ処理事業特別会計予算について、本事業に係る周辺環境整備費等を予算計上しており、複数年に亘る事業については、債務負担行為を3月議会に上程することを説明。

○主な質問・意見

古谷稲美町長

「周辺環境整備に係る経費負担は問題ないが、施設稼働までに必要な整備は間に合うのか。住民対応の時間も考慮して、事務方でしっかり事務を進めて欲しい。」

登高砂市長

「中筋交差点の交差点改良に係る工事は平成28年度中に実施するのか。」

事務局

「中筋交差点の交差点改良については、平成28年度に交差点北側の右折レーンの設置を県が実施し、交差点南側に存在する支障物件の移設を市が実施する。その後、平成29年度に交差点南側の右折レーンの設置を県が実施する予定である。」

登高砂市長

「中筋交差点の交差点改良に係る工事は平成29年度に完了するのか。」

事務局

「その予定である。」

- 広域ごみ処理施設の建設に伴う2市2町のごみ搬入予定ルート路線及び中筋交差点の改良・改修を、本事業に係る周辺環境整備事業とし、2市2町の負担のもとで進めることを確認した。

- 議事(2)について、2市2町合意のうえ、了承した。

議事(3) その他

- ①東播臨海広域市町村圏における広域ごみ処理施設整備・運営事業 要求水準書(案)について

- 事務局から議事(3) - ①について説明。

東播臨海広域市町村圏における広域ごみ処理施設整備・運営事業 要求水準書(案)について、当局が施設整備に求める水準をまとめたもの

であり、1月29日（金）に高砂市のホームページ上に公開したことを説明。

○主な質問・意見

登高砂市長

「要求水準書と実施方針は関連しているのか。」

事務局

「実施方針は本事業に係る大きな方向性を示したもので、要求水準書は、当局が施設整備に求める水準をまとめたものであり、今後予定している事業者公募の際に事業者へ示す必要がある。」

登高砂市長

「要求水準書はいつ頃まとまるのか。」

事務局

「3月中には取りまとめる。」

清水播磨町長

「リサイクル事業の一環として、広域ごみ処理施設の中でガラス工房は整備するのか。」

事務局

「本事業への住民理解を得ていくためにも、住民向けの環境講座等は必要と考えている。ガラス工房も費用対効果を含めて整備の可否を検討する。」

清水播磨町長

「稲美町及び播磨町で運営する加古郡衛生事務組合において、現在ガラス工房の体験教室を実施している。広域ごみ処理施設で整備する場合、設備の重複が懸念されるため確認した。」

事務局

「広域ごみ処理施設と高砂市以外の1市2町の現状と整合をはかるため部会等で調整する。」

古谷稲美町長

「ガラス工房については集約するかしないかということではないか。」

登高砂市長

「ガラス工房については、今後2市2町で現状との整合をはかりながら部会等を通じて検討することとする。」

○議事（3）－①について確認した。

②工事期間中のごみ処理について

○事務局から議事（3）－②について説明。

・広域ごみ処理施設の整備にあたり、平成29年2月から高砂市の可燃ごみ及び不燃・粗大ごみを、新施設稼働までの間、加古川市及び播磨町に処理を委託することから、今後、必要な調整を願いたい旨を説明。

・高砂市の施策として、工事期間中の高砂市民の自己搬入に係る対策について、市民サービスの維持と環境面への配慮から、高砂市美化センターに市民向けの簡易集積所を設置することを予定しており、当該予算を平成28年度当初予算として提案する旨を説明。

工事期間中の高砂市のごみ搬入に係る沿道環境への配慮及びごみ搬入車両の低減について、実現可能な対策を進めていくことを説明。

また、広域ごみ処理施設稼働後も、同様に必要な対策を講じていただきたい旨を1市2町に説明した。

### ③ごみ減量への取り組みについて

#### ○主な意見

岡田加古川市長

「剪定枝の再資源化や雑紙の分別回収を進めているが、20%のごみ減量は重い課題である。平成33年度末までに20%のごみ減量に到達出来ないと判断した場合、ごみ袋の有料化も現実的な検討課題になるが、出来る限り市民負担は大きくしたくない。」

古谷稲美町長

「住民により一層減量への意識を持ってもらうためには、ごみ袋の有料化をにらむべきではないか。ごみ処理広域化とごみ袋の有料化は一体で考えていくべきではないか。」

清水播磨町長

「ごみ処理広域化とごみ袋の有料化は切り離して考えるべきで、ごみ減量に向けて、今後も様々な取組みをしていきたい。その一つの試みとして、レジ袋有料化の協定締結を予定している。」

登高砂市長

「今後も情報の交換と共有を密にし、それぞれの良いところを取り入れ減量化を考えていきたい。」

以上